

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成26年8月発行 No.99



「津軽白神ふれあい通信」創刊100号を迎えるにあたって

所長 石田 和彦

広報誌「津軽白神ふれあい通信」はおかげさまでまもなく創刊100号を迎えます。

これもひとえに当誌をご愛顧いただいております皆様方のご支援とご指導の賜ものと心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、当センターは平成18年4月1日に全国で11番目となる「津軽白神森林環境保全ふれあいセンター」（平成25年4月1日に津軽白神森林生態系保全センターに改称）として設置され、「津軽白神ふれあい通信」は設置以来発行を重ねて参りました。



当センターの活動内容、成果等を皆様に広くご紹介することにより、多方面の方々との交流を深めさせていただくとともに、情報提供にいささかなりともお役に立てればと発行を重ねて参りました。

100号を迎えるにあたって、当センター歴代所長から在籍時の思い出、当センターへの苦言、ご自身の近況等について寄稿いただきましたので今号から3回に渡りご紹介致します。

今後も紙面の充実を図る考えであり、皆様方の貴重なご意見ご要望をお待ちしております。

「津軽白神ふれあい通信」100号に寄せて

林木育種センター東北育種場 遺伝資源管理課長 細川 斉

(第三代所長 平成23年5月16日～平成25年3月31日)

「津軽白神ふれあい通信」まもなく100号、おめでとうございます。

私は、平成23年5月から本年3月まで2年11ヶ月お世話になり、現在岩手県滝沢市にある林木育種センター東北育種場に勤務しています。

私が在任中の出来事の中に「津軽白神森林環境保全ふれあいセンター」から「津軽白神

森林生態系保全センター」に名称が変わったことです。とはいえ、皆さんとは自然観察会や自然再生活動などのイベントでは変わらずに楽しく過ごすことが出来ました。

人前で話をするのが苦手な私が、平成23年の国際森林年では森林の役割と人との関係、平成25年の世界自然遺産登録20周年では、白神山地が世界自然遺産に登録された意義や魅力などの話、また自然観察会などでは私のつたない説明に耳を傾けていただきました。あらためて皆さんのご協力と優しさに支えてもらいながら無事に過ごせたと感じています。この場を借りて御礼申し上げます。

在任中は、自然再生活動や自然観察会、ボランティア団体との協働、遺産地域内への合同パトロール、講演など、いろいろな活動を通じて多くの方々から森林や動植物について学び、たくさんの方々との交流をさせていただきよい思い出になっています。



その中の一つ、インドネシアの研修生を受け入れたときに、ボランティアで自然再生活動を行っていることにとても感心していたことが印象に残りました。私たちにとって当たり前のことと思ったのと同時に、私たちがやっていることがちょっと誇らしく思えました。気の長い活動ですが続けて欲しいと思っています。

今後とも、津軽白神森林生態系保全センターの様々な活動や「津軽白神ふれあい通信」を通じて、多くの方が白神山地の良さに触れることができれば、白神山地に携わったものとしてうれしい限りです。また、どこかでお会いできる日を楽しみにしています。

合同パトロールを実施しました

8月1日（金）今年度第一回目の合同パトロールを①笹内川、②クマガラの森、③大川、④白神岳、⑤暗門の滝の各コースで実施しました。

白神岳登山口では朝7時45分頃に他県からのマイクロバスの一団が到着し、小雨が降る中を地元ベテランガイドの先導で登山していきました。「天候を見ながら悪くなったら途中で引き返しますよ」とのことでした。



前日までの天気予報と変わって、朝から断続的に雨が降り天候不良のため各コースの巡視は断念しました。

日を改めて、8月27日の第二回合同パトロールは天候も良く、①クマガラの森、②横倉沢、③白神岳、④暗門の滝各コースのパトロールの実施をしました。

暗門の滝入り口では、午前8時30分のパトロール開始から、少人数グループの入山が相次ぎ、午前中には3組の団体が入山しました。

青森県内では夏休みも終了した平日でしたので、多くの入山者は期待はしていませんでしたが、午前中には配布のために準備した入山マナー啓発用のティッシュ約100個が無くなるペースでの入り込みでした。

巡視の結果、横倉沢コースではビニール類のゴミを発見回収しましたが、他のコースでは違法行為等は見受けられず良好な状態でした。

今後9月中に、第三回のパトロールを計画していますので、その際にも入山者の皆さんに白神山地が適切に利用されているか再度確認し、利用にあたっての注意事項を啓発していきたいと考えています。



津軽白神森林生態系保全センターの森林教室の開催について

森林教室「秋の白神山地に学ぶ～暗門の滝～」

東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センターでは、「山の日」制定を記念し、森林教室を開催しますので、下記により参加者を募集いたします。

記

- 開催日 平成26年10月22日（水）
開催場所 青森県西目屋村 暗門の滝、釣瓶落峠
募集人員 20名（応募者多数の場合は抽選といたします。）
集合場所 青森市役所柳川庁舎前 7：10発
その他 参加費200円（傷害保険料実費額）昼食、雨具等ご持参ください。

※ご注意

今回の募集については、**募集期間を8月18日から9月8日（月）**とさせていただきます。募集期間が大変短くなっておりますので、ご留意かたよろしくお願いいたします。詳細につきましては、担当までお問い合わせください。

担当：津軽白神森林生態系保全センター 自然再生指導官 三浦
TEL 0173-72-2931

東北森林管理局・森林管理署等のイベント

詳細は森林管理署等へお問い合わせください

- ・ 9月13日（土）「朝日自然塾4」山形県小国町五味沢白布平
小学生親子30名 参加費200円
朝日庄内森林生態系保全センター TEL 0235-58-1730
- ・ 9月18日（木）「奥松島海岸の植物観察と景観」宮城県東松島市
25名 参加費200円
10月30日（木）「鍋腰峠の二次林と晩秋の紅葉」宮城県加美町
25名 参加費200円
宮城北部森林管理署 TEL 0229-22-2074
- ・ 10月中旬「森林教室」秋田県東成瀬村
20名 参加費未定
秋田森林管理署湯沢支署 TEL 0183-73-2164
- ・ 10月23日（木）「中丸山の紅葉と治山事業」山形県上山市
30名 参加費100円
山形森林管理署 TEL 0237-86-3161
- ・ 10月25日（土）「遺産の森二ツ森&留山のブナ林」秋田県八峰町
参加費3000円
藤里森林生態系保全センター TEL 0185-79-1003

森林教室「秋の白神山地に学ぶ～十二湖～」を開催します

当センターでは秋の森林教室を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 平成26年10月25日（土） 青森市役所柳川庁舎前 7:10発

開催場所 青森県深浦町 十二湖自然休養林

募集人員 30名（応募者多数の場合は抽選といたします。）

その他 参加費200円（傷害保険料実費額）昼食、雨具等ご持参ください。

募集期間 9月25日（木）～10月10日（金）

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>